

ACをするうえでの注意事項

1. AC（アニマルコミュニケーション）は病状の診断をはかる手段ではなく、また、医療に代わるものではありません。
2. ACでは生前の動物の印象が違うことがあります。生きてる子も同じく印象が違う場合があります。
3. ACは透視や占い等とは違いますので、動物への配慮が優先になりますので動物への優しい声掛けはもちろんですが、ペットロスカウンセリング等も範疇になります。

その為アニマルコミュニケーターが事前に情報をお聞きすることがあります。

4. 病気で亡くなったり、不慮の事故で亡くなったりした場合、ACをスムーズにさせるためにその原因を飼い主さんにお聞きする事があります。

出来るだけその原因を知る事で動物の気持ちを事前に配慮したセッションを行うためです。

4. 問題行動の場合は劇的に変化がある子もいれば、そうでない子もいます。くせになっている場合は、獣医師又はドッグカウンセリング等の併用をお勧めします。

以上

宜しくお願いします。

アニマルコミュニケーター 楽
三浦恵津子